

ネットワークビデオデコーダー

品番 WJ-GXD300UX

●取扱説明書の構成について

・設置編（本書）：

必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。

・基本編：

商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。

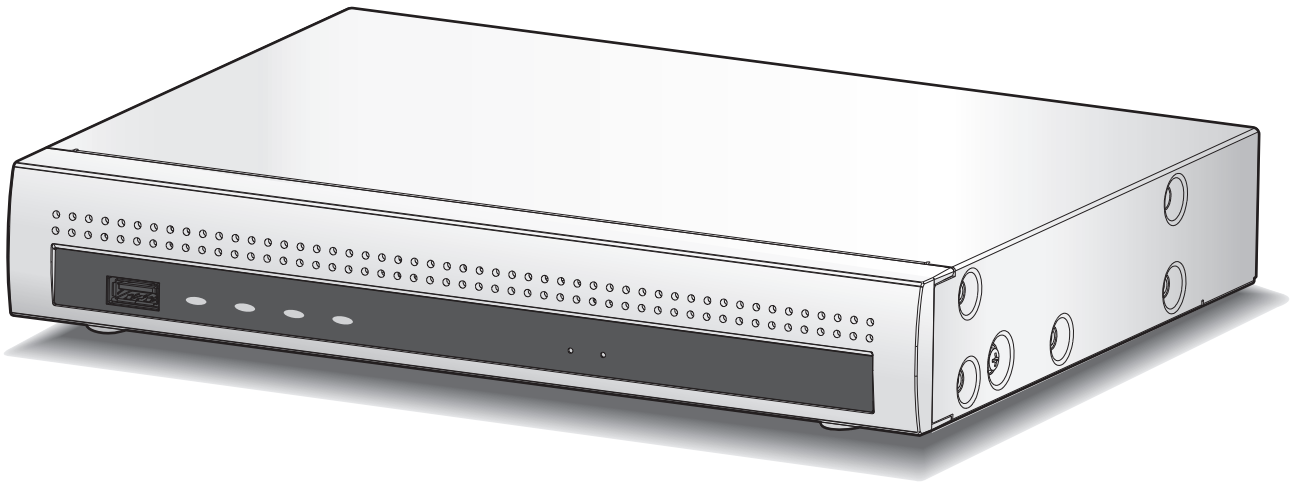
PDFファイル形式でCD-ROMに納められています。

・操作・設定編：

本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。

PDFファイル形式で以下の弊社サポートウェブサイトに掲載しています。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal



本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-GXD300の取扱説明書です。

HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4ページ～5ページ）を必ずお読みください。

もくじ

ご注意	安全上のご注意	4
はじめに	はじめに	6
	付属品をご確認ください.....	6
	取扱説明書について.....	6
	カメラの増設について（別売品）.....	7
	インターネット経由で本機をご使用の場合.....	8
	設置上のお願い	8
	基本的な操作のしかた.....	10
	設定画面について	12
運用の流れ	運用までの流れ	13
設置	1 設置する	15
	縦置き設置する	15
	壁取り付けする	16
	2 接続する	17
	カメラ、マウス、PCを接続する	17
	モニターを接続する.....	18
	アラーム／コントロール端子の接続方法.....	19
	アラーム／コントロール端子の時間と極性.....	21
	ACアダプターを接続する.....	22
起動 セットアップ	3 起動する	23
	電源を入れる	23
	（電源を切るときは）.....	24
	4 ライセンス（解除キー番号）を登録する.....	25
らくらく 設定	5 必要最小限の設定を行う [らくらくスタート].....	27
その他	故障かな!?!?	30
	保証とアフターサービス.....	32

取扱説明書 基本編

以下の項目については、付属CD-ROM内の取扱説明書 基本編（PDFファイル）をお読みください。

はじめに	<ul style="list-style-type: none">・商品概要・必要なPCの環境・ネットワークに関するお願い
ご注意	<ul style="list-style-type: none">・使用上のお願い
各部の名称	<ul style="list-style-type: none">・各部の名前とはたらき
ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none">・本機のユーザー管理について
その他	<ul style="list-style-type: none">・故障かな!?・仕様

取扱説明書 操作・設定編

以下の項目については、弊社サポートウェブサイト掲載の取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。

本体設定	<ul style="list-style-type: none">・基本設定<ul style="list-style-type: none">日時に関する設定カメラに関する設定イベントに関する設定スケジュールに関する設定・詳細設定<ul style="list-style-type: none">モニターの設定 [モニター]ネットワーク接続に関する設定 [ネットワーク]ユーザー管理に関する設定 [ユーザー管理]メンテナンスに関する設定 [メンテナンス]セキュア機能の設定 [拡張機能]・設定項目一覧
本体操作	<ul style="list-style-type: none">・見る・イベント機能
ブラウザー設定	<ul style="list-style-type: none">・設定する・イベント機能

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)

⇒放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)

⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)

⇒傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき、火災や感電の原因となります。)

■ 総質量に耐える場所に取り付ける

(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)

⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。

■ 定期的に点検する

(金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。)

⇒点検は、販売店に依頼してください。

■ 専用の取付金具を使用する

(落下によるけがや事故の原因となります。)

⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。

■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

(落下によるけがや事故の原因となります。)



禁止

■ 異物を入れない

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)

⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。






■ 不安定な場所に置かない

(けがの原因となります。)



■ 付属のACアダプター(極性統一型プラグ)以外は使用しない

(付属のACアダプター以外を使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の原因となります。)

⚠ 警告

 禁止	<p>■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど) (傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。) ⇒修理の際は販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない (たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)</p>
	<p>■ 可動式電源プラグを有する延長コードは使用しない プラグ部を繰り返し可動させた場合、可動部内部に隙間が生じ、発煙・火災の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。</p>
 水ぬれ禁止	<p>■ 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない (水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない (工事時を含む) (感電の原因となります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない (感電の原因となります。)</p>

⚠ 注意

	<p>■ 工事は販売店に依頼する (工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。</p>
 禁止	<p>■ 電源を入れたまま工事、配線をしない (けがの原因となります。)</p>
	<p>■ 湿気やほこりの多い場所に設置しない (けがの原因となります。)</p>
	<p>■ 通風孔をふさがない (内部に熱がこもり、火災の原因となります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない (けがの原因となります。)</p>

はじめに

付属品をご確認ください

CD-ROM※1	1枚	ケーブルクランプ	1個
マウス	1個	ACアダプター	1個
取扱説明書 設置編	1冊	電源コード	1本
コードラベル※2	1枚		

※1 CD-ROMには取扱説明書 基本編 (PDFファイル) が納められています。設置や設定時には必ずお読みください。

※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。

取扱説明書について

取扱説明書は、取扱説明書 設置編 (本書)、取扱説明書 基本編 (PDFファイル)、取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル) で構成されています。

- 取扱説明書 設置編 (本書) : 必要な機器との接続や設置のしかた、簡単な設定方法について説明しています。
- 取扱説明書 基本編 (PDFファイル) : 商品概要やご使用上の注意、各部の名称や仕様について説明しています。
- 取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル) : 本機を使用するにあたっての詳細な設定、および操作方法について説明しています。
以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

本書および画面中のGXD300とは本機を表しています。接続可能なネットワークカメラ (以下、カメラ) の品番、バージョンについては本機付属のCD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。また、接続可能なカメラの最新情報や、本機のソフトウェアバージョンアップによる機能追加などの情報については弊社サポートウェブサイト (https://i-pro.com/jp/ja/support_portal) を参照してください。

カメラの増設について（別売品）

本機にカメラ拡張キット（別売り）のライセンスを登録することで、カメラを増設することができます。増設されるカメラ台数は、下表のように登録するライセンス数によって変わります。

カメラ拡張キット	ライセンス追加なし	× 1 追加時	× 2 追加時	× 3 追加時
WJ-GXDE30WUX	最大接続カメラ9台	最大接続カメラ16台	最大接続カメラ36台	最大接続カメラ64台

インターネット経由で本機をご使用の場合

第三者による意図しないアクセスを防止するため、

- ユーザー認証の設定は「On」のままご使用ください。
- 本機にアクセスするためのパスワードは定期的に変更してください。

変更方法は取扱説明書 操作・設定編（弊社サポートウェブサイト内のPDFファイル）を参照してください。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- スピーカーや大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

ゴム製品による硫化について

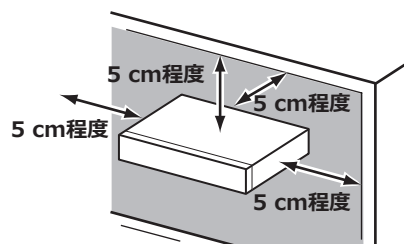
硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）を本機の近傍や同じ収納ボックス内に設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

VCCIについて

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

横置きまたは専用金具を使用した縦置き、専用金具を使用した壁取り付けで設置してください

本機の周囲に5 cm程度の空間を確保してください。



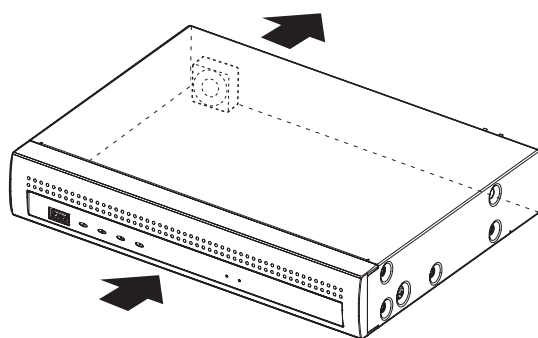
壁に取り付ける場合は、障害防止のため、この機器は、設置説明に従って壁にしっかりと取り付ける必要があります。

壁に取り付けている場合、本機を使用しなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風孔を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風孔がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店（設置工事店）に依頼してください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度あけてください。



雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

電源について

必ず保護接地された電源コンセントに接続してください。

電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

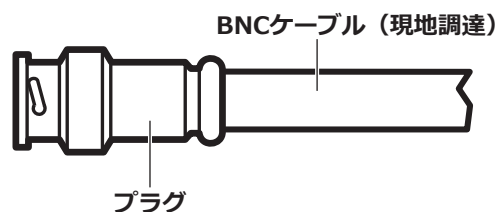
- 電源制御ユニットを経由して接続する。
- 容易にアクセス可能な電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する。
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

BNCケーブル接続

本機後面の映像出力端子にBNCケーブル（現地調達）でアナログモニターを接続する際、BNCプラグは規格適合品を使用してください。

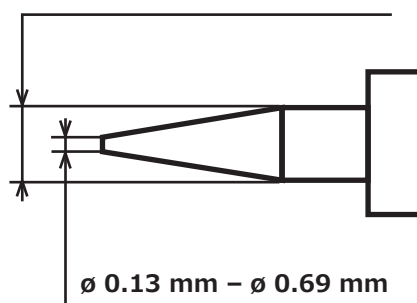
適合プラグ JIS : C5412

※規格番号末尾は改定されている場合があります。



推奨適合プラグのピン形状

ø 1.32 mm - ø 1.37 mm



重要

- 適合品以外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性があります。また、本機側のコネクタを破損するおそれがあります。

基本的な操作のしかた

ここでは、マウスやソフトキーボードの操作や設定画面のみ説明しています。

本機の操作は、本機後面のマウス接続ポートに接続したマウス（付属品）から行います。

本機の設定は、パーソナルコンピュータ（以下、PC）のウェブブラウザからも行うことができます。ウェブブラウザの操作や設定できる項目については、取扱説明書 操作・設定編（PDFファイル）をお読みください。

マウスの接続

本機後面のマウス接続ポートに付属のマウスを接続します。

→モニターにマウスカーソルが表示されます。

マウス操作

画面上のボタンやタブを左クリックして操作します。

(以降、本書では左クリックをクリックと表記します。)

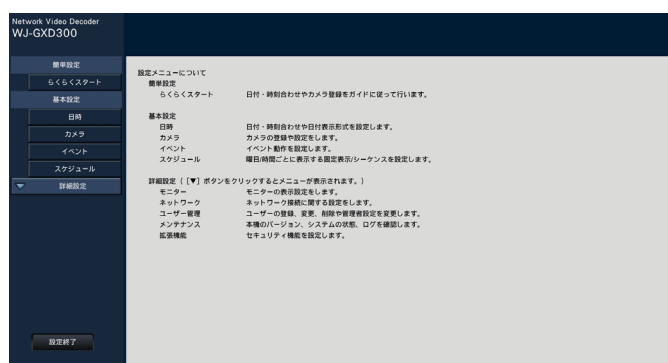
[▲] / [▼] ボタンまたは [▼] ボタンのある入力欄にカーソルがある場合は、マウスホイールで値を変更できます。

10秒間何も操作しないと、マウスカーソルが非表示になります。マウスを動かすと再び表示されます。


設定画面の表示方法

【設定】 ボタンをクリックします。

→設定メニューのトップ画面が表示されます。



ソフトキーボードの操作について

設定項目の文字入力はソフトキーボードで行います。各設定画面にある入力欄右の  アイコンをクリックすると、ソフトキーボードが表示され、画面上の文字キーをクリックすることで、文字を入力できます。

ソフトキーボード画面



文字入力欄

【全消去】 ボタン

文字入力欄に入力されている文字列をすべて消去します。

【←】 / 【→】 ボタン

文字入力欄のカーソルを左右に移動します。

【消去】 ボタン

文字入力欄のカーソルのある文字を消去します。

【A / a】 ボタン

英数字表示のとき大文字 / 小文字を切り換えます。日本語表示のときは【あ / ア】 ボタンとなり、ひらがな / カタカナを切り換えます。

【切換】 ボタン

表示文字キーを切り換えます。

英数字→日本語1→日本語2→英数字、と表示されるキーが切り換わります。

日本語1は五十音を入力するとき、日本語2は、濁音、半濁音、小文字母音を入力するときに使用します。

【確定】 ボタン

入力した文字列を確定し、ソフトキーボード画面を閉じます。

メモ

- ソフトキーボードからは漢字の入力はできません。PCのウェブブラウザからは漢字入力が可能です。
- ログイン画面やライセンス登録画面なども、基本的な操作方法は同様です。
- 入力した文字列を確定せずに画面を閉じるには、【×】 ボタンをクリックしてください。

設定画面について

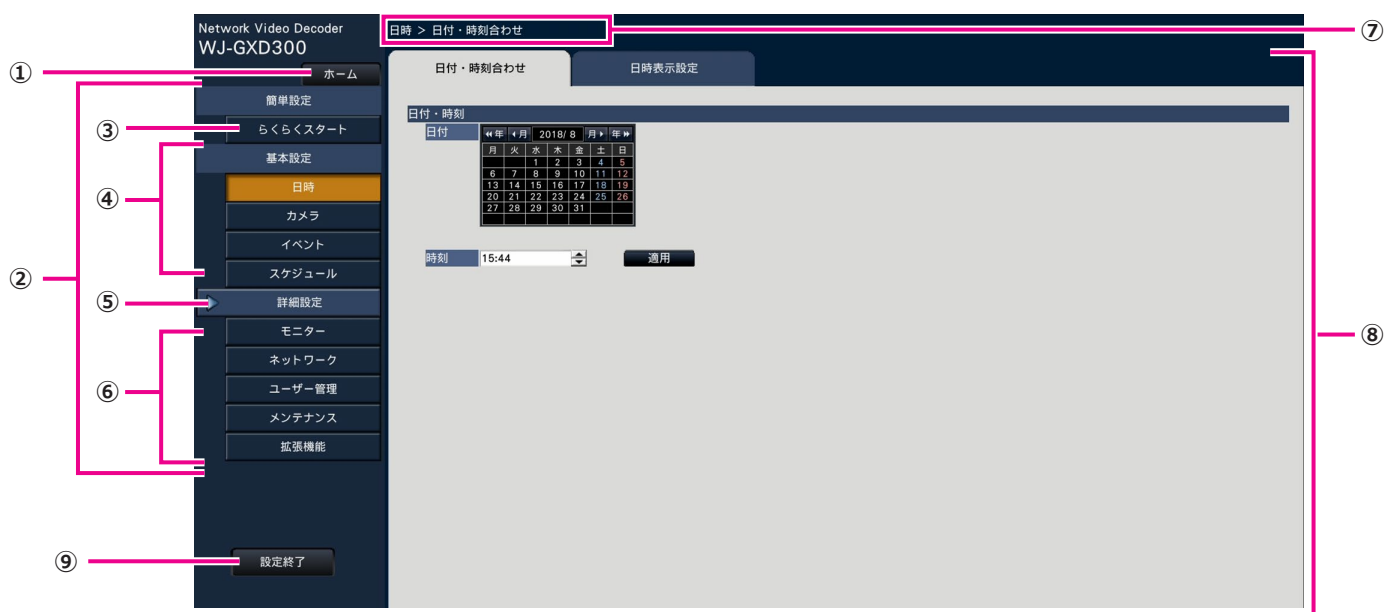
本機を操作する場合、あらかじめ、設定メニューで各項目を設定しておく必要があります。

設定には、必要最低限の内容のみ設定し他の項目は初期設定のまま運用する「らくらくスタート」と、さまざまな運用方法に合わせてカスタマイズする「基本設定」および「詳細設定」があります。

ここでは設定画面の代表的な例を用いて、設定画面の概要と操作方法を説明します。

設定画面は、モニターの画面右下に表示される「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

設定画面の左側には、設定メニューが表示されます。



① [ホーム] ボタン

どの設定ページからでも、設定のトップ画面 (⇒10ページ) に戻ります。

② 設定メニューパネル

各設定メニューボタンを表示します。

③ [らくらくスタート] ボタン

日時やカメラ登録など、運用開始に最低限必要な設定をウィザード形式で設定できます。

④ 基本設定 - 各種設定メニューボタン

基本設定の各設定ページを表示します。

⑤ [詳細設定] ボタン

詳細設定の各種設定メニューボタンを表示します。再度クリックすると、各種設定メニューボタンが非表示となります。

⑥ 詳細設定 - 各種設定メニューボタン

詳細設定の各設定ページを表示します。

⑦ 画面階層表示

表示されている設定ページ名称を階層表示します。タブ名称も含まれます。

⑧ 設定ページ

各設定メニューのページを表示します。複数タブで構成されているページは、タブをクリックしてページを切り換えます。

⑨ [設定終了] ボタン

設定した内容を本機に反映し、設定画面を閉じて運用画面 (⇒14ページ) に戻ります。

本書では、一部を除き、設定画面の表示例として、画面階層表示と設定ページを使用します。

運用までの流れ

- 設定にはモニターが必要です。
※PCのウェブブラウザからも設定できます。(取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル) をお読みください)
- 取扱説明書 基本編や操作・設定編 (PDFファイル) を読むため、またカメラ等の設定にはPCが必要です。

1

設置する
👉 15ページ

本機をラックや壁などに取り付けます。
設置せず平置きで使用する場合は、2へ進みます。

2

接続する
👉 18ページ

本機にカメラやマウス、PC、モニター、アラーム復帰入カケーブル、アラーム出カケーブル、ACアダプターなどを接続します。

3

起動する
👉 24ページ

以下の順で電源を入れ、起動します。
①カメラ、モニターの電源を入れる。
②本機の電源を入れる。
③管理者登録を行う。

4

ライセンス (解除キー番号) を登録する
👉 26ページ

カメラを増設する場合はカメラ拡張キットの解除キー番号を登録します。

ライセンス登録後、ライセンス登録画面の [再起動] ボタンをクリックして本機を再起動し、ライセンスを有効にします。

運用までの流れ（つづき）

5

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]
👉 28ページ

「らくらくスタート」で日付と時刻、カメラの登録を行います。他の設定を初期設定から変える必要がなければ、運用を開始できます。

設定
👉 取扱説明書 操作・設定編
(弊社サポートウェブサイト内のPDFファイル)

必要に応じて各機能の詳細設定をします。

運用開始

モニターにカメラ映像が表示できれば、運用開始状態です。



運用画面例

運用の流れ

1 設置する

縦置き設置する

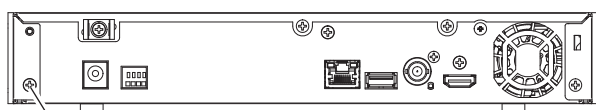
本機を縦置き設置するときは、ラックマウント金具WV-Q202UX（2個1組、別売り）が必要です。
縦置き設置に使用するラックマウント金具は1個です。

重要

- ラックマウント金具（WV-Q202UX）は、本機が転倒しないことを保証するものではありません。

STEP1

ドライバーで後面パネル左下のねじを外します。



背面左下のねじを外す

外したねじ(M3×6mm)は、適切に保管してください。

STEP2

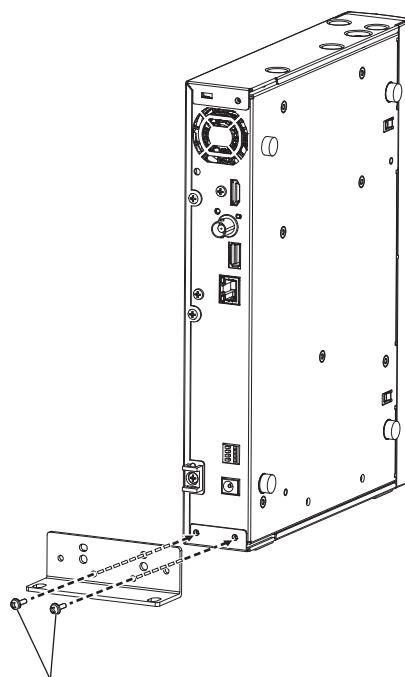
本機の背面に、ラックマウント金具（WV-Q202UX : 別売り）を取り付けます。

ラックマウント金具取付ねじ2本（WV-Q202UXに付属）で確実に固定します。

- ねじ締付トルク：
0.69 N・m ~ 0.88 N・m (7.0 kgf・cm ~ 9.0 kgf・cm)

メモ

- ラックマウント金具WV-Q202UXに付属の以下の取付金具を使用します。
ラックマウント金具×1
ラックマウント金具取付ねじ（M3×10 mm）×2



ラックマウント金具取付ねじ
(M3×10 mm : WV-Q202UXに付属) ×2

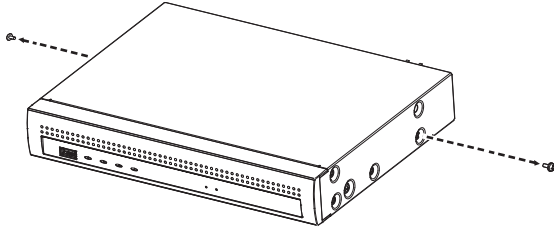
設置する (つづき)

壁取り付けする

本機を壁取り付けするときは、ラックマウント金具WV-Q202UX (2個1組、別売り) が必要です。

STEP1

本機の両側面後方のねじ (2本) を外します。
外したねじ (M3×6 mm) は、適切に保管してください。



STEP2

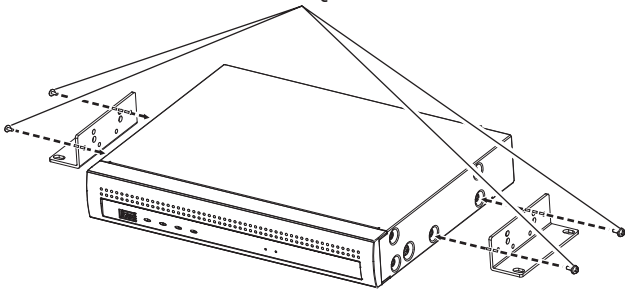
本機の両側面にラックマウント金具 (WV-Q202UX : 別売り) を取り付けます。
ラックマウント金具取付ねじ2本 (WV-Q202UXに付属) で確実に固定します。

- ねじ締付トルク :
0.69 N・m ~ 0.88 N・m (7.0 kgf・cm ~ 9.0 kgf・cm)

メモ

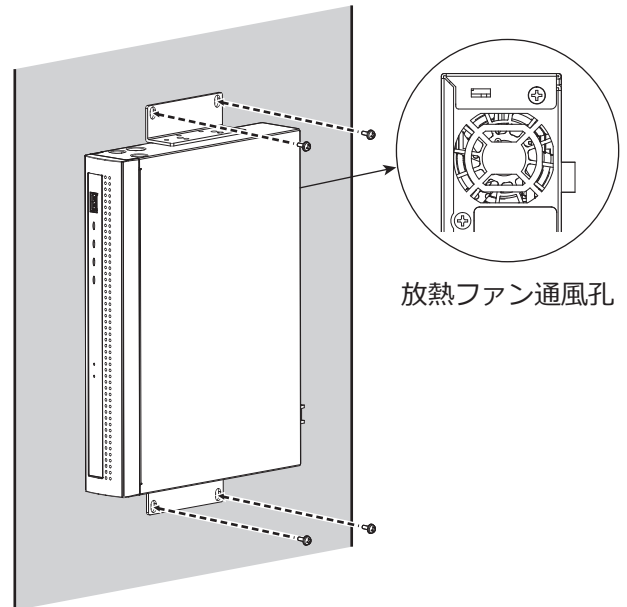
- ラックマウント金具WV-Q202UXに付属の以下の取付金具を使用します。
ラックマウント金具×2
ラックマウント金具取付ねじ (M3×10 mm) ×4

ラックマウント金具取付ねじ
(M3×10 mm : WV-Q202UXに付属) ×4



STEP3

本機を壁に垂直に取り付けます。
取付ねじ4本 (M5、長さ10 mm以上、現地調達) で壁に確実に固定します。



重要

- 取り付けに使用するねじの最低引抜強度は1本あたり196 N (20 kgf) を確保してください。
- ねじの種類は壁の材質に合わせて選択ください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な壁に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。
- ケーブル (ACアダプターのDCケーブルを含む) が引っ張られたり、折れ曲がったりしないよう、また、ACアダプター本体が宙づりにならないように設置してください。

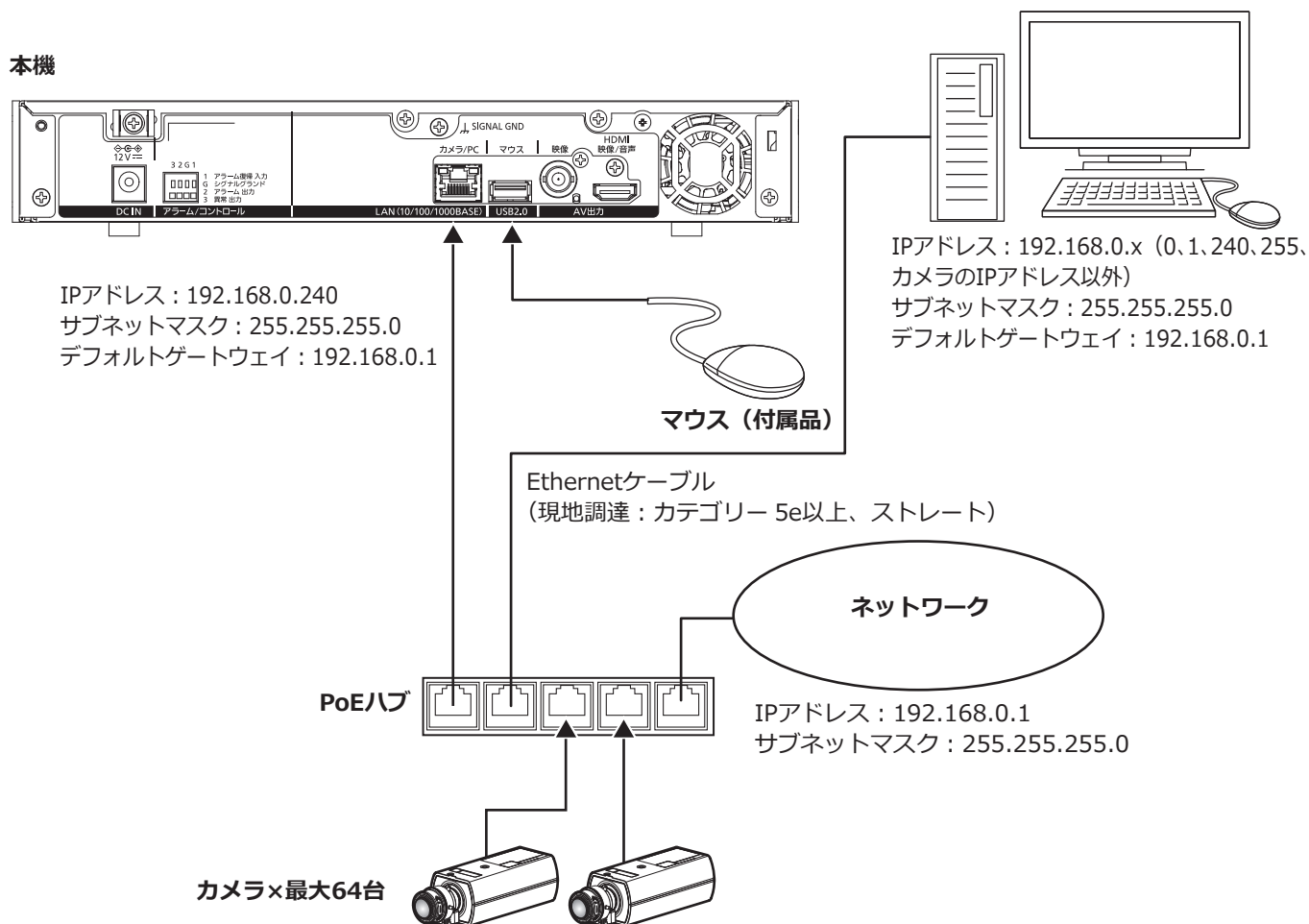
メモ

- 上記STEP3のイラストの方向で壁に取り付けると、後面パネルの放熱ファン通風孔が上部になり、放熱効果が高くなります。

2 接続する

カメラ、マウス、PCを接続する

本機とPCおよびカメラをPoEハブ経由で接続します。
カメラは最大64台まで接続できます。



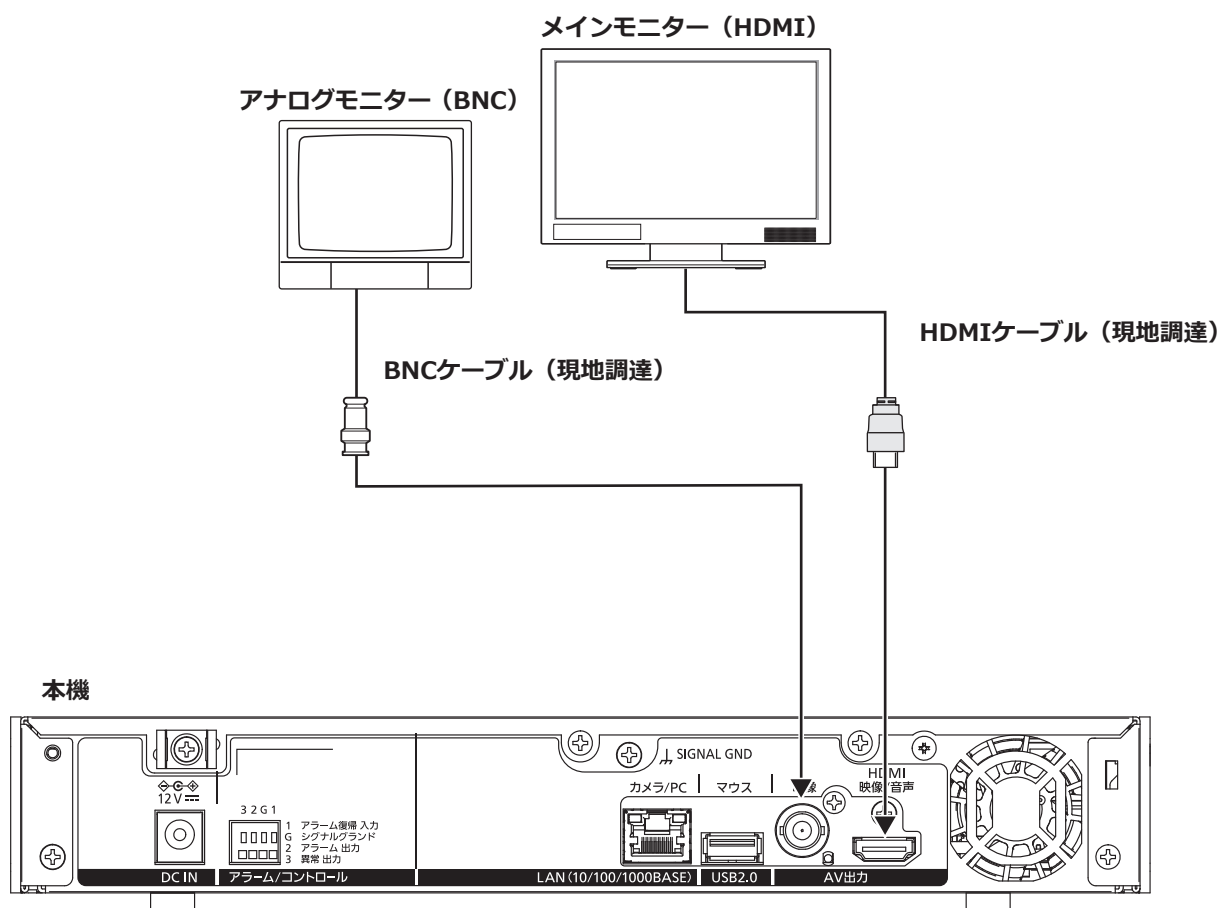
メモ

- 無線LANの機能があるカメラの場合でも、本機に接続する場合は必ず有線で接続してください。

接続する (つづき)

モニターを接続する

ライブ画像や設定メニューを表示するメインモニター (HDMI) は、HDMIケーブル (現地調達) でHDMI映像/音声出力端子に接続します。アナログモニター (BNC) は、BNCケーブル (現地調達) で映像出力 (映像) 端子に接続します。



メモ

- HDMIケーブルは「ハイスピードHDMI[®]ケーブル」を使用してください。また、メインモニターを4K/30Pで使用する場合、HDMIケーブルは10.2 Gbps対応のものを使用してください。
- 画質の劣化防止や安定した動作のため、HDMIケーブルは5 m以下のものを使用してください。
- HDMIケーブルで接続したメインモニターから音声を出力することができます。
- アナログモニター (BNC)は、メインモニター (HDMI) と同じライブ画像や設定メニューを表示しますが、画質は劣ります。

アラーム/コントロール端子の接続方法

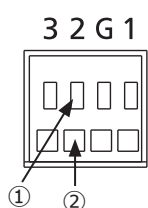
後面のアラーム/コントロール端子は、外部の装置からアラームを復旧するときや、ブザーやランプなどの外部に警報を出す装置と接続するときに使用します。

アラーム/コントロール端子は、被覆をむいたケーブルを直接挿入します。

※ケーブルは、AWG28～20、むき線長さ9 mmの単線、または撚線を使用してください。

後面のアラーム/コントロール端子

ケーブルの接続のしかた



- ① ボタンを押す。
- ② ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離す。

重要

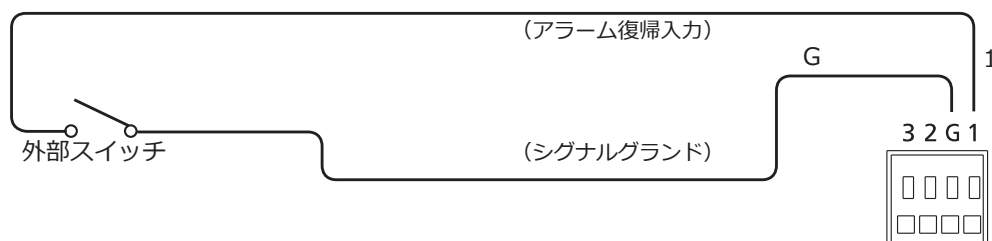
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する場合は、本機外部で線を分岐させ、接続してください。

端子	名称	動作内容	備考
1	アラーム復帰入力	本機のアラーム表示を解除する	無電圧メーク接点入力 3.3 V プルアップ 約23 kΩ
G	シグナルグランド	—	
2	アラーム出力	イベント発生時にアラーム信号を出力する	オープンコレクタ出力
3	異常出力※	イーサネットのリンク外れやファン異常、温度異常など本機の異常を検出したときに信号を出力する	最大DC24 V、-200 mA

※異常出力のエラー内容については、「エラー履歴・ネットワークログについて」(取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル)) をお読みください。

アラーム復帰を行う場合の接続例

外部スイッチを「入」にすると、アラーム表示を解除します。

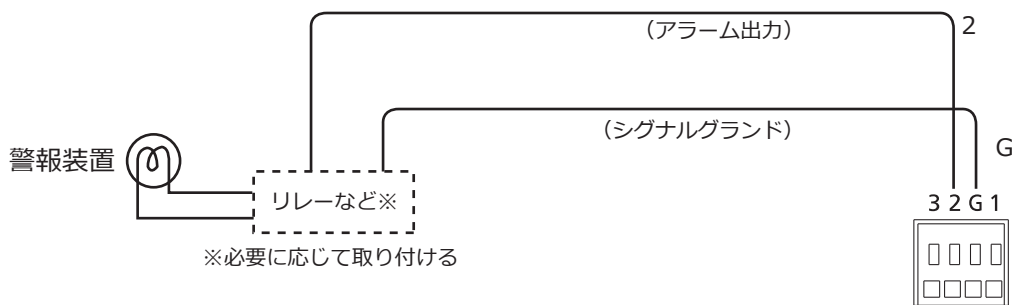


2 接続する (つづき)

アラーム出力の接続例

端子2にブザーやランプなどの警報装置を接続すると、アラーム発生時にブザーを鳴らしたり、ランプを点灯してアラームを知らせることができます。

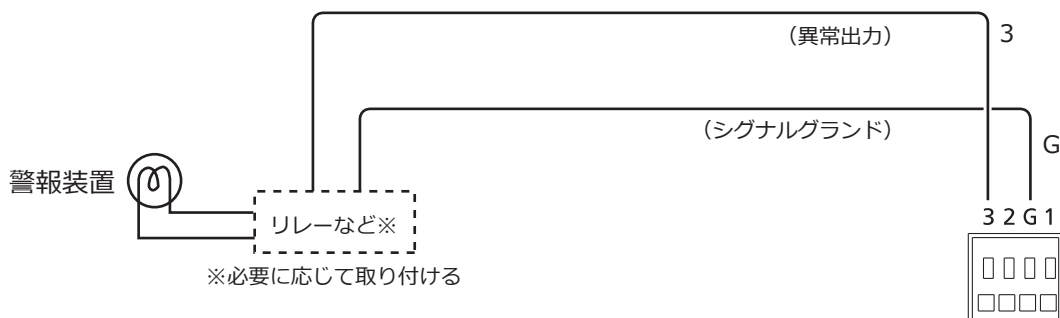
アラーム出力（端子2）の接続例は以下のとおりです。



異常出力の接続例

端子3にブザーやランプなどの警報装置を接続すると、異常発生時にブザーを鳴らしたり、ランプを点灯して異常を知らせることができます。

異常出力（端子3）の接続例は以下のとおりです。



メモ

- アラーム出力や異常出力を使用する場合は、各イベントの設定画面で動作モードを「アラーム動作」に設定してください。

アラーム/コントロール端子の時間と極性

端子名	アクティブ時間	備考
アラーム復帰入力	100 ms以上	N.O.時：Lアクティブ N.C.時：Hアクティブ
アラーム出力	設定メニューで設定した時間	Lアクティブ
異常出力	エラー発生～障害出力時間※ まで	Lアクティブ

※障害出力時間については設定メニューの【詳細設定】－【メンテナンス】－【システム管理】で設定します。
(☞取扱説明書 操作・設定編 (PDFファイル))

メモ

- Lアクティブ (Low active、ロー・アクティブ) 時は、信号の電圧レベルがLowレベルのときに論理が有効となります。
- Hアクティブ (High active、ハイ・アクティブ) 時は、信号の電圧レベルがHighレベルのときに論理が有効となります。

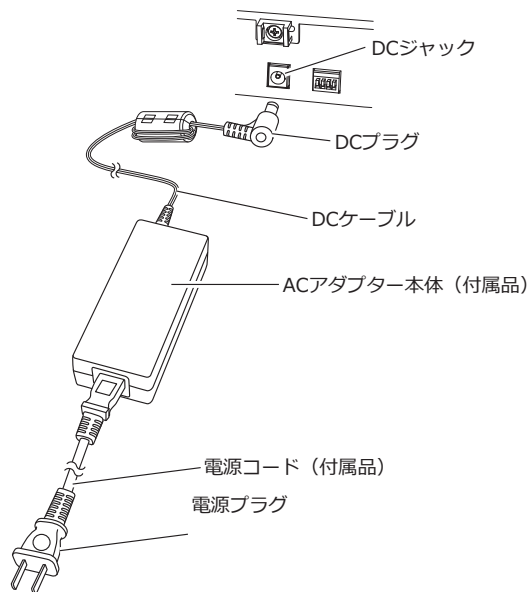
接続する (つづき)

ACアダプターを接続する

ACアダプター (付属品) に電源コード (付属品) を接続し、後面パネルのDCジャックにACアダプターのDCプラグを接続します。

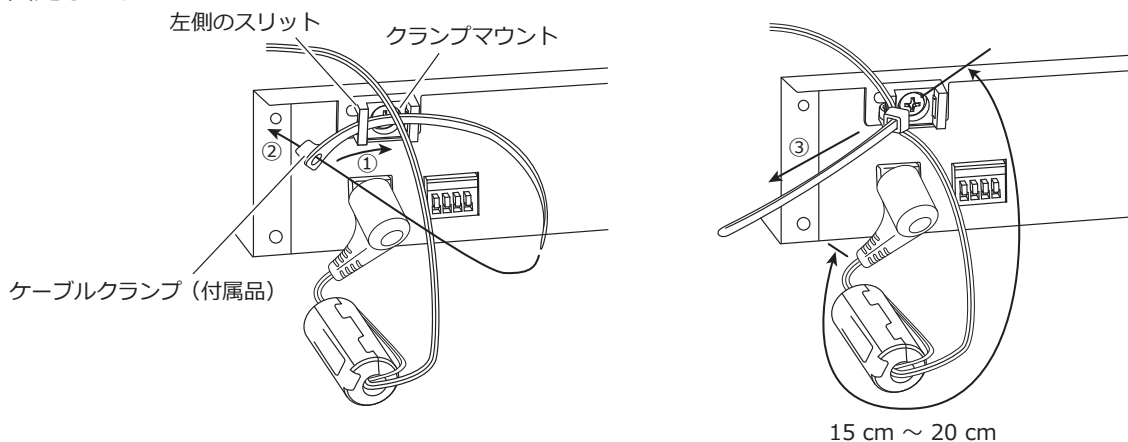
重要

- 電源プラグは、「**3** 起動する (☞ 24ページ)」で電源コンセントに差し込みますので、ここではまだ電源コンセントに差し込まないでください。
- 緩んだり抜けたりしないよう、DCプラグはDCジャックの奥まで差し込んでください。
- DCプラグの抜け防止のため、DCケーブルを付属のケーブルクランプで確実に固定してください。



DCプラグの抜け防止方法

クランプマウントに通した付属のケーブルクランプで、DCケーブルのDCプラグから15 cm ~ 20 cmのところを固定します。



- ① クランプマウントの左側のスリットにケーブルクランプ (付属品) を通します。
- ② DCケーブルを締めるため、イラストのようにケーブルクランプで輪を作ります。
- ③ DCケーブルのDCプラグから15 cm ~ 20 cmのところを締めてクランプマウントに固定します。
ケーブルクランプのあまった部分は必要に応じて切断してください。

3 起動する

電源を入れる

本機の電源を入れます。
あらかじめ、カメラやモニターの電源を入れておきます。

STEP1

ACアダプターの電源プラグをAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源コンセントに差し込みます。

→本機前面の「通電」ランプが点灯し、システムチェックが開始され、モニターに起動中画面が表示されます。



重要

- 起動処理中は絶対に電源を切らないでください。
- 必ずAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。

STEP2

モニターに管理者登録画面が表示されます。

A screenshot of the administrator registration screen. At the top, it says '管理者登録' (Administrator Registration). Below that, there are instructions: 'はじめに、本機の管理名とパスワードを登録してください。' (First, please register the device's management name and password). There are three input fields: '管理者名(1~32文字)' (Management name, 1-32 characters), 'パスワード(8~32文字)' (Password, 8-32 characters), and 'パスワード確認' (Confirm password). Below the fields is a virtual keyboard with letters, numbers, and symbols. At the bottom, there are '注意事項' (Notes) and a '登録' (Register) button.

管理者登録

はじめに、本機の管理名とパスワードを登録してください。

管理者名(1~32文字) _____

パスワード(8~32文字) _____

パスワード確認 _____

注意事項

- (1) 英数字記号で入力してください。
- (2) 大文字と小文字を区別して入力してください。
- (3) パスワードは英字(大文字)、英字(小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
- (4) 管理者名とパスワードは忘れないように保管してください。
- (5) パスワードは定期的に変更してください。
- (6) パスワードは管理者名を含まないように設定してください。

登録

画面に従って管理者名、パスワード、およびパスワード確認を入力し、「登録」ボタンをクリックしてください。

表示された確認画面で「OK」ボタンをクリックすると、管理者登録が完了します。

重要

- パスワードは定期的に変更してください。

管理者名、パスワードの保管についてのお願い

設定した管理者名、パスワードが分からなくなった場合、デコーダーの初期化^{*}が必要です。デコーダーを初期化するとすべての設定が消去されますので、管理者名、パスワードは第三者の目に触れないように大切に保管してください。

※初期化の方法については、販売店(設置工事店)にお問合せください(サービスマン対応となります)。

3 起動する (つづき)

(電源を切るときは)

ACアダプターの電源プラグを電源コンセントから抜きます。

重要

- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

4 ライセンス(解除キー番号)を登録する

カメラ拡張機能を使用するときは、本機にライセンス(解除キー番号)を登録する必要があります。

重要

- カメラ拡張の解除キー番号を登録した場合、必ず [再起動] ボタンをクリックし、本機を再起動させてください。本機を再起動しないとライセンスが有効になりません。

STEP1

カメラ拡張機能を使用する場合は、カメラ拡張キット(別売り)により、拡張ライセンスの解除キー番号を取得します。

詳しくは、起動情報案内カードをお読みください。

STEP2

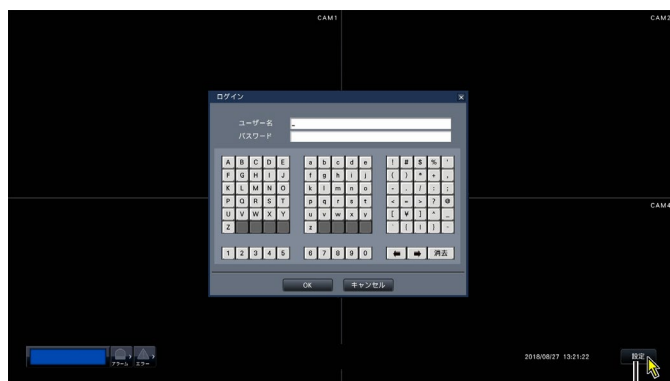
本機を起動します。(☞23ページ)

→システムチェックが終了すると、モニターに下記の画面が表示されます。

STEP3

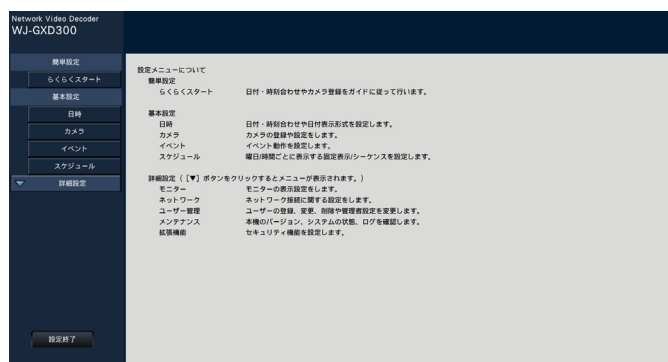
[設定] ボタンをクリックします。

→ログインするためにユーザー名とパスワードを入力してください。



[設定] ボタン

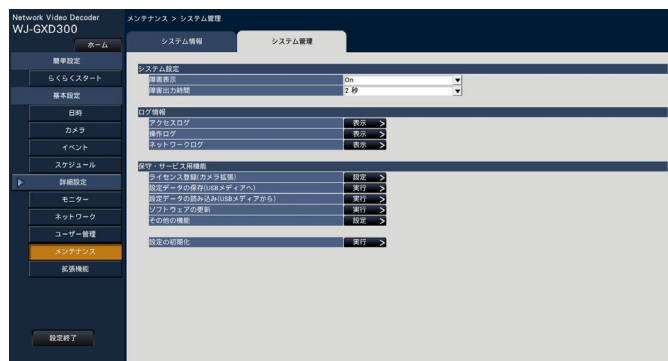
→設定画面が表示されます。



STEP4

設定メニュー [詳細設定] の [メンテナンス] - [システム管理] タブの順にクリックします。

→ [システム管理] 画面が表示されます。



起動セットアップ

4 ライセンス（解除キー番号）を登録する（つづき）

STEP5

「ライセンス登録（カメラ拡張）」の「設定>」ボタンをクリックします。

→ライセンス登録画面が表示されます。



STEP8

ライセンス登録画面の「再起動」ボタンをクリックします。

→本機が再起動し、ライセンスが有効になります。

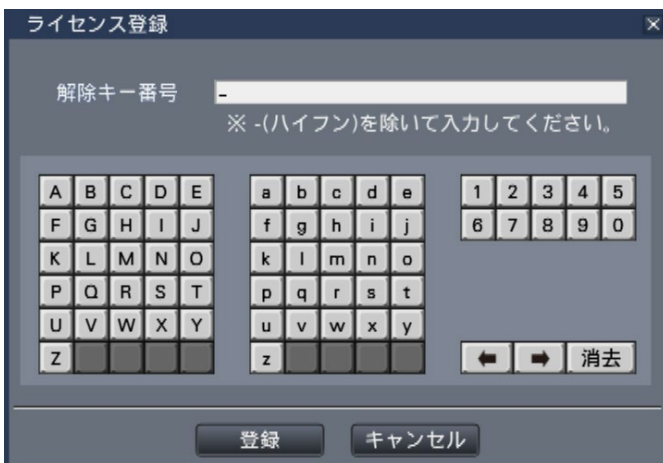
STEP6

「カメラ拡張」-「解除キー番号1~3」の「登録>」ボタンをクリックします。

→解除キー番号を入力する画面が表示されます。

STEP7

ソフトキーボードを使って、カメラ拡張の解除キー番号を入力し、「登録」ボタンをクリックします。



→ライセンス登録画面に戻ります。

メモ

- エラー画面が表示された場合は、再度入力欄に有効な解除キー番号を入力してください。

5 必要最小限の設定を行う [らくらくスタート]

設定メニュー [簡単設定] - [らくらくスタート] では、日付設定やカメラの登録など、本機を使用するために必要な最小限の設定を行います。

まず、らくらくスタートで設定を行い、さらに詳細な設定を行いたい場合は、各設定メニューで設定を行います。

らくらくスタートでできること

- 本機の日付と時刻の設定
- カメラの登録
- カメラの入れ換え

※上記以外は、本機の初期設定のままで運用されます。

※本機ではカメラのIPアドレス、ユーザー名、パスワード、画像・音声に関する設定はできません。レコーダーと併用する場合は事前にカメラのレコーダー登録を行ってください。また、レコーダーを使用しない場合はPCのウェブブラウザから直接カメラの設定を行ってください。

※音声の設定をする場合は、らくらくスタートではなく [基本設定] - [カメラ] - [カメラ登録] の登録情報の変更で設定してください。

※時刻の再設定を行う場合は、らくらくスタートではなく [基本設定] - [日時] から設定してください。

重要

- 登録できるのは、本機が対応している弊社およびパナソニック製カメラのみです。対応カメラについては、本機付属のCD-ROM内「readme.txt」をお読みください。
- 弊社およびパナソニック製以外のカメラをONVIF接続などで使用する場合は、らくらくスタートのみで運用を開始することはできません。日時の設定、固定IPアドレスの設定、ユーザー名/パスワードの設定などをあらかじめカメラ側で行ってから、[基本設定] - [カメラ] - [カメラ登録] のカメラ検出や登録情報の変更でカメラを本機に登録してください。

STEP1

設定メニューのトップ画面で [らくらくスタート] ボタンをクリックします。

設定画面の表示のしかたは「基本的な操作のしかた」(P.10ページ)をお読みください。



→日付・時刻を設定する画面が表示されます。

STEP2

日付・時刻を設定します。



【日付】

現在の日付を設定します。カレンダーのボタンで年月を選択し、日付をクリックして選択します。

[<<年] [年>>] ボタン : 年を切り換えます。

[<月] [月>] ボタン : 月を切り換えます。

【時刻】

現在の時刻を設定します。

STEP3

日付、時刻を設定したら、[適用] ボタンをクリックします。

→00秒に設定されます。

必要最小限の設定を行う [らくらくスタート] (つづき)

STEP4

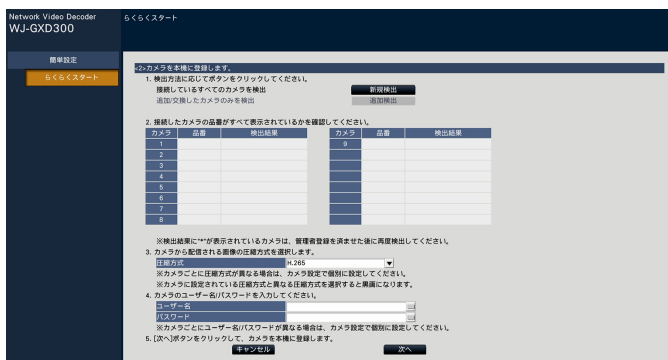
[次へ] ボタンをクリックします。
→カメラの登録画面が表示されます。

メモ

- 事前にカメラをネットワークに接続してください。カメラのライセンス登録台数より多く接続していても、ライセンス数分だけ検出します。不要なカメラは接続を外しておいてください。

STEP5

カメラを本機に登録します。



[新規検出] ボタン

通常、デコーダーへカメラが1台も登録されていない状態で使用します。

接続しているすべてのカメラを検出します。
画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。
接続したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

[追加検出] ボタン

既に運用中の状態で、カメラの追加や交換を行う場合に使用します。
追加や交換したカメラのみを検出します。
画面上にカメラの品番および検出結果が表示されます。
追加や交換したカメラの品番がすべて表示されているかを確認してください。

重要

- 検出結果に「*」が表示されているカメラは管理者登録を済ませた後に再検出してください。
- すでに運用しているカメラがある場合、「新規検出」を行うと、接続しているすべてのカメラの登録情報を上書きするのでご注意ください。
- 運用開始後に追加したカメラとすでに登録済みのカメラの設定を合わせるには、あらためて追加したカメラの設定を行ってください。
- ビデオエンコーダー (DG-GXE500、WJ-GXE500) の場合、検出されるカメラはCH1のみになります。CH2～4は別途設定メニューから登録する必要があります。

[カメラ]

ライセンス登録 (25ページ) により、16、36、64の構成が可能です。

[品番]

弊社およびパナソニック製カメラを使用している場合、そのカメラの品番が表示されます。

[検出結果]

- 新規 : 初めて本機にカメラを接続した場合に表示されます。
- 交換 : 本機に接続していたカメラを交換した場合に表示されます。
- 追加 : 本機にカメラを追加して接続した場合に表示されます。
- 登録済み : すでに登録済みのカメラの場合に表示されます。
- 消失 : 登録済みのカメラが検出されなかった場合に表示されます。
- 空欄 : カメラが検出されていません。
- * : 管理者未登録

メモ

- 「消失」「空欄」が表示された場合は、カメラの電源が入っているか、正しく接続できているかを確認してください。

STEP6

カメラから配信される画像の圧縮方式を選択します。

カメラの設定に合わせて選択します。

H.265 / H.264 / MJPEG

初期値 : H.265

メモ

- H.265を選択したときH.265に非対応のカメラに対しては自動的にH.264で画像取得します。
- H.265、H.264が混在する構成では、カメラの設定をご確認の上、あらためて設定メニュー「登録情報の変更」から、カメラ個別に設定を行ってください。

STEP7

カメラに登録済みのユーザー名とパスワードを入力します。

メモ

- ユーザー名とパスワードが一致しないときは、あらためて設定メニュー「登録情報の変更」から、カメラ個別に設定を行ってください。

STEP8

[次へ] ボタンをクリックします。

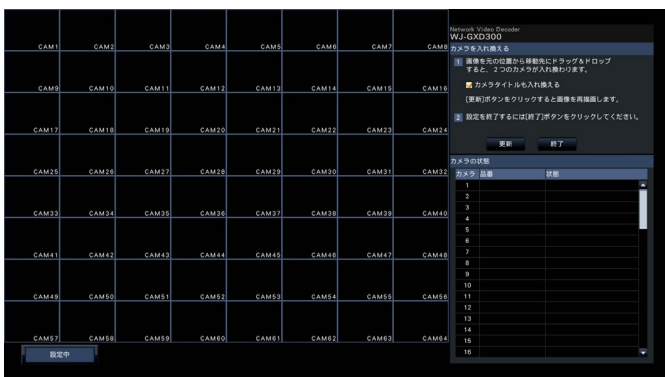
→新規・交換・追加を行ったカメラから画像の配信を開始します。

メモ

- らくらくスタートでのカメラ登録は、ルーターを経由した異なるネットワークのカメラには行えません。
- 弊社製およびパナソニック製カメラの機種によっては、カメラの電源投入後20分以上経過した場合に「ONVIF」として検出されることがあります。その場合はカメラの電源を入れ直して再度検出を行ってください。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、カメラの検出結果を反映せずに、らくらくスタートの初期画面（日付・時刻を設定する画面）に戻ります。

STEP9

登録したカメラ番号を変更したい場合、カメラ番号を入れ換えることができます。



画面上には、登録したカメラが、左上から右に1、2、…9の順で表示されます。入れ換えたいカメラ画像をマウスでドラッグし、移動したい位置でドロップすると、カメラ番号が入れ換わります。

カメラタイトルも入れ換える場合は、「カメラタイトルも入れ換える」にチェックを入れてください。

メモ

- 画面の分割数はカメラ拡張ライセンスの登録数により、9、16、36、64画面となります。

【カメラの状態】

カメラ品番と各カメラの状態が一覧表示されます。

- 表示中 : 登録したIPアドレスまたは登録済みのIPアドレスで画像を表示しています。
- 検出不可 : カメラの画像が取得できません。
- 認証エラー : 画像表示の認証に失敗しました。

重要

- 「検出不可」が表示された場合は、カメラの接続を確認し、カメラ登録をやり直してください。
- 「認証エラー」が表示された場合は、カメラの取扱説明書をお読みの上、カメラの設定を確認してからカメラ登録をやり直してください。
- 登録したカメラが正常に検出されない、またはカメラの設定を変更したい場合は、[基本設定] - [カメラ] の [カメラ登録] タブ（ 取扱説明書操作・設定編（PDFファイル））で「登録情報の変更」を行ってください。

【更新】 ボタン

入れ換え後のカメラの最新画像を取得します。

【終了】 ボタン

設定を終了して、設定メニューのトップ画面に戻ります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。

また、弊社サポートウェブサイト（https://i-pro.com/jp/ja/support_portal）のFAQ（よくあるご質問）も参照してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	-
	●電源コードが、ACアダプターに確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	-
	●DCケーブルが、本機のDCジャックに確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	基本編
モニターにカメラ画像が表示されない	●カメラのユーザー名、パスワードは正しく登録されていますか？ ユーザー名、パスワードが合っているか、[基本設定]-[カメラ]の[カメラ登録]タブで「登録情報の変更」画面を確認してください。	操作・設定編
	●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか、確認してください。	-
	●ケーブルは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか、確認してください。	17、18
	●HDMIモニターによっては、正常に表示されないことがあります。 モニターの電源を入れ直して表示されるか、確認してください。	-
	●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされていますか？ 設定を確認してください。	-
	●カメラの圧縮方式は設定と一致していますか？	操作・設定編
	●カメラの画像配信ストリームは高解像度の設定になっていませんか？ 高解像度の画像は多分割画面では表示できないことがあります。	操作・設定編
画面が欠けて表示される	●モニターの表示領域のぼらつきによるもので、故障ではありません。	-
	●接続しているモニターで映像を自動で拡大表示にする機能が有効になっている場合、映している被写体によっては画面が欠けて表示される場合があります。	-
画像がぼやける	●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ カメラのレンズを確認してください。	-
メニューを開けない	●ユーザーは設定メニューを表示できるユーザーレベルになっていますか？ ユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。	操作・設定編
モニターに表示されるカメラの画像、文字がぶれて見える	●映している被写体や接続しているHDMIモニターによっては、画像、文字がぶれて見えることがあります。機器仕様によるもので故障ではありません。	-
アラーム動作しない	●アラーム端子は正しく設定されていますか？	操作・設定編
	●動作モードが「Off」に設定されていませんか？ 設定を確認してください。	操作・設定編
モニターの画面上に「通信エラー：カメラcc」が表示される（「cc」はカメラ番号を示します。）	●カメラは正しく接続されていますか？ カメラの接続を確認してください。	17
	●接続に問題がない場合は、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので、販売店（設置工事店）にご相談ください。	-
	●カメラの圧縮方式は設定と一致していますか？	操作・設定編
	●カメラのユーザー名、パスワードは正しく登録されていますか？ ユーザー名、パスワードが合っているか、[基本設定]-[カメラ]の[カメラ登録]タブで「登録情報の変更」画面を確認してください。	操作・設定編

故障かな!?(つづき)

現象	原因・対策	参照ページ
モニター画面上に「温度異常」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の使用温度範囲は 0℃～+50℃です。本機は内部温度情報を元に「温度異常」を表示します。「温度異常」が表示される場合は、設置環境を見直し、周囲温度を +25℃程度とするようお勧めします。「温度異常」が頻繁に表示される場合は、販売店（設置工事店）にご相談ください。 	15
	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンが故障していないか確認してください。 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の通風孔、放熱ファンをふさいでいないか、また、通風孔にほこりがたまっていないか確認してください。 	9
時刻がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の時計精度は、月差±30秒です。正しい時刻を表示するために、NTP機能を使用して現在時刻がずれないようにシステム構成にしてください。 	-
エラーランプが赤色に点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ● システムの故障です。お買い上げの販売店（設置工事店）にご相談ください。 	-
カメラの「認証エラー」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● らくらくスタートで新規検出を行うと、登録済みカメラのユーザー名、パスワードがクリアされるため「認証エラー」が表示されます。その場合は、[基本設定]-[カメラ]の[カメラ登録]タブで「登録情報の変更」画面を開き、ユーザー名、パスワードを手動で再入力してください。 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの取扱説明書をお読みの上、カメラを初期化してからカメラ登録をやり直してください。 	-
マウスカーソルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルは正しく接続されていますか？マウスによっては認識されない場合があります。本機付属のマウスをご使用ください。 	-

電源コード・コネクター・電源プラグは、定期的に点検してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店（設置工事店）に修理を依頼してください。 	-
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする		

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(☞30~31ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- **製品名** ネットワークビデオデコーダー
- **品 番** WJ-GXD300UX
- **故障の状況** できるだけ具体的に

i-PRO製品の「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

壁取り付け製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を壁に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none">● 本機を使用せずに放置している。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。
<ul style="list-style-type: none">● 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。● 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。● 本機および取付部に破損や著しいさびがある。	▶	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？		直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none">● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。● 製品に触るとビリビリと電気を感ずる。● 電源を入れても、映像や音*が出てこない。● その他の異常・故障がある。	▶	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

i-PRO株式会社

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022

Ls1122-1112 * PGQX2647YA *
 Printed in China